

挑戦の先には成長がある

鳥取県議会議員

玉木ゆういち 活動報告書

令和7年度

ご挨拶

皆様、日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。県議会議員として送り出していただき、あっという間に二年間が経ちました。今日、私が全力で職務に励めるのは、一番近くで支えてくれる家族や仲間、そして何より皆様の応援があってこそです。

私は、決して政治の世界の色に染まることなく、常に皆様と心を合わせ活動していくことをお約束します。一方で、この二年間で痛感したのは、改革を成し遂げるための「政治の力」の重要性です。古いしがらみは断ち切りつつも、改革を志す「良いつながり」を広げ、政治の世界で経験を積み、覚悟を持って力をつけていく。そのためには、同じ志を持つ仲間を増やし、勢力を拡大していくことが不可欠だと確信しています。

改革の道は依然として道半ばです。だからこそ、私自身が改革のアクセル役となり、失敗を恐れることなく挑戦を続けてまいります。

次世代が夢を描ける社会を作ることは、人生の大先輩である高齢者の皆様の安心を守ることにも直結します。政治という手段を最大限に活用し、時代に即した持続可能な社会へと大きく方向転換させていく。そのために、初心を忘れず、一步ずつ着実に、皆様と共に全力で走り抜ける決意です。

今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

鳥取県議会議員

玉木裕一

玉木ゆういち連絡先 TEL:0857-35-0417

FAX:0857-77-3951 携帯:090-8990-7016

〒680-0803 鳥取市田園町4丁目375番地

MAIL:y.tamaki@yuichitamaki.jp

令和7年6月定例会 議会報告 (6月18日 本会議)



録画視聴できます

概略

本県の人口が52万6,338人と53万人を大きく割り込む中、これまでの当たり前を疑い、若者や女性に選ばれる県へと「パラダイムシフト」を起こすべきだと考え、議論をしました。陸の孤島と呼ばせないための交通政策や、民間の知恵を借りて結果に責任を持つ新しい行政手法の導入など、鳥取から日本創生モデルを築く「令和の改新」の将来ビジョンについて、知事の決意を質しました。

1. 地方創生2.0の実現に向けた鳥取県の取組について



玉木質問 人口減少が加速する中、Z世代などの若者や女性に選ばれるため、これまでの手法を思い切って変える挑戦が必要です。知事が描く将来ビジョンを伺います。

知事答弁 人口減少を「縮充（質を高め充実させること）」の機会と捉えます。都会に住みながら本県と関わる「関係人口」の創出や、週1副社長ののような新しい働き方を提示し、年末までに「令和の改新」戦略をまとめます。

2. 『陸の孤島と呼ばせない!』人口流出抑制と交流人口拡大を目指して

玉木質問 特急「スーパーはくと号」の昨年度乗車率は40%に留まっています。これを倍の80%（100万人以上）へ引き上げる高い目標を掲げるべきです。また、若者の閉塞感を打破するため、羽田便の運賃を片道1万円程度に抑える大胆な支援はできませんか。

知事・執行部答弁 スーパーはくとは現在1日8往復に増便しており、コナン列車の活用等で回復

を図ります。羽田便はANAの機材小型化などの動向を見極めつつ、さらなる割安感の向上を働きかけ、1万円を切るセールの周知を徹底します。



3. 令和の改新の実現に向けた『結果にコミットする』公民連携について

玉木質問 成果に応じて報酬を支払う「PFS（成果連動型民間委託契約方式）」を導入し、特に「えんトリイ」等の子ども・婚活支援で結果にコミットする仕組みを作れませんか。鳥取大学の地域未来共創センターとの産学官連携も強化すべきです。

知事答弁 認知症予防等ですでに導入しており、婚活分野への導入も検討します。新しく就任された原田学長ともタッグを組み、民間の創意工夫を活かした「鳥取型」の公民連携モデルを模索します。



令和7年9月定例会

議会報告

(9月26日 本会議)



録画視聴できます

概略

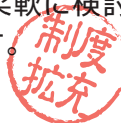
県内の施設で相次いだ子どもたちの痛ましい事故や事案を重く受け止め、子どもの声を大人が確実に受け止める構造を作るため、独立した立場から権利を守る制度の充実を訴えました。また、深刻な人手不足の中で「選ばれる鳥取県」であるために必要な住居支援や、国家のリスク管理としての「副首都構想」についても、具体的な提言を行いました。

1. 子どもの権利擁護「県版アドボカシー制度」の充実について

玉木質問 施設内での虐待や死亡事故など、痛ましい事案の背景には「子どもの声が届かない構造的課題」があります。現在のアドボキッ特派遣は月1～2回程度と断続的で限界があります。施設に属さない「独立した常勤のアドボカシー専門員」を配置し、子どもの本音を受け止める体制を制度化すべきです。

知事答弁 過去の事故を深く反省し、人員増や体制強化を進めてきました。アドボカシーには「独立

性」が不可欠であり、「子どもが本当にどう思っているか」という子ども本位の視点を最優先に、専門的知見を得ながら柔軟に検討します。



2. 多文化共生社会の実現に向けて

玉木質問 2030年に600万人超の労働力不足が予測される中、本県への外国人材からの住まい相談は年間わずか2件です。出国前の段階で「鳥取県なら住居費が抑えられる」という強い魅力を示すべきです。1万5,000戸の空き



家活用とセットで、大胆な住宅補助を打ち出し、世界から選ばれる県を目指すべきです。

知事答弁 育成就労制度への移行を控え、住環境整備は重要です。業種を問わず「横串を刺したような新しい住居支援の仕組み」を新年度予算に向けて検討します。Wi-Fi整備などのアメニティー支援も含め、実効性のある策を構築します。

外国人材住環境整備
支援補助金

3. 副首都構想について

玉木質問 30年以内に70%の確率で発生する首都直下型地震(想定被害95兆円)に備え、東京一極集中の是正は急務です。大阪が副首都となれば隣接する鳥取県も大きな恩恵を受けます。受皿となる準備を進めるべきではないですか。

知事答弁 関西広域連合設立からの15年間、国の機能を地方に移す「複眼構造」の重要性を一貫して主張してきました。関西の仲間と共に戦略を組み、鳥取県のメリットを最大化できるよう注視していきます。



令和7年12月定例会 議会報告 (12月11日 本会議)



録画視聴できます

概略

大阪・関西万博の成功を一時的なものに終わらせず、そのレガシーを未来へ繋ぐために議論をしました。特にサウジアラビアとの「サンド・アライアンス」を活かした夢のある国際交流を提案する一方で、子どもたちの命を守る最前線である児童相談所の過酷な労働環境を改善するため、現場の声を届け、職員の処遇改善を強く求めました。

1. 大阪・関西万博のレガシー継承について

玉木質問 万博は来場者2,900万人を突破し、経済効果3兆円と成功しました。2030年のリヤ

ド万博(サウジアラビア)を見据え、鳥取県オリジナルパビリオンの出展検討や、鳥取大学が進める「芝生育成プロ

ジェクト(補助金1億円)」への産学官連携を強化し、県民に夢と希望を示すべきです。

知事答弁 夢みなとタワーに「レガシーゾーン」を設置する交渉を進めています。鳥取大学のプロジェクト支援など産学官連携を「令和の改新」の柱とします。パビリオンの出展は国の外交の中で決まて行く仕組みですが、構想は重要な視点として受け止めます。



2. 持続可能な財政運営と県職員の処遇改善等について

玉木質問 児相の現場では休業者が30%以上にのぼり、月に12日も連続勤務する過酷な実態があります。今回の300円の宿直手当増額だけでは不十分です。新たに「宿直支援サポーター制度」を創設し、負担を軽減すべきです。また、人件費増が続く中、中長期的な財政見通しを伺います。

知事・執行部答弁 宿直手当は4,700円(全国2番目の水準)へ改定します。提案された「サポーター制度」についても、潜在的な子ども支援員等の活用を新年度に向けて前向きに検討します。財政面では、過去18年間で県債を約1,600億円削減しており、健全な基盤は維持されています。



令和8年2月定例会

議会報告

(3月18日 本会議)



録画視聴できます

概略

令和8年度予算に対し、私は人口減少のフェーズが大きく変わったという認識のもと、将来世代への「異次元の投資」を提案しました。特に20代女性の46%が県外へ流出している現状に対し、産業構造の変革や、子ども1人に1,000万円を給付するという革新的な提案を行いました。また、専門高校で学ぶ子どもたちの環境を第一に考え、エアコン設置の前倒しについても議論を行いました。

1. 若者や女性の人口流出対策



玉木質問 年間で6,735人の人口が減少し、特に20代女性の約46%が流出しています。令和8年度予算に込める危機感と、流出を止めるための具体的な対策を伺います。

知事答弁 若者が感じる「地域特有の生きづらさ(アンコンシャス・バイアス)」の解消に向け、早期に県民運動を起こし、ジェンダーにとらわれない環境づくりを後押しします。

2. 「地域未来戦略」に呼応した「産業クラスター」の実装

玉木質問 新設の「産業クラスター室」等をどう機能させ、地場産業の未来図をどう描くのですか。地域の中小企業支援や産業用地の規制見直しを含めた戦略を伺います。

知事答弁 産業クラスターを「ゲームチェンジャー」とし、半導体、食品加工等の受皿を整備します。AI活用等で生産性を高め、若者が「ここに働く場所がある」と確信できる環境を整えます。

3. 将来世代への徹底投資「異次元の人口減少対策(段階的1,000万円給付)」



玉木質問 経済的不安を払拭するため、子ども1人に生涯1,000万円を段階的に(出産・入学時等)支給する「地方版ベーシックインカム」を提案します。出産お祝い金100万円であれば年間30億円(予算の1%未満)で可能です。直接給付への挑戦はできませんか。

知事答弁 行政は「現物・サービス給付」を基本とし、本県は中四国1位の子ども予算(167億円)を投じています。将来的に年間300億円(予算の約1割)の負担となる財政リスクも鑑み、確実にお子様のためになる「サービス給付」を堅持します。

4. 出会い・婚活支援のプロフェッショナル化「婚活アドバイザー」

玉木質問 婚姻数減が少子化の直結原因です。「えんトリー」で献身的に活動するボランティア仲間(縁ナビ)の皆様は、多大な時間と労力を割いています。予算を拡充し、プロとして活動できる環境を整備すべきではないですか。

知事答弁 縁ナビの皆様の熱意に甘えていた部分がありました。活動に伴う費用弁償の制度化や、スキルアップのための研修支援など、改善に向けて新年度に検討を進めます。

えんトリーキュービッド
マイレージ制度

5. 専門高校等における空調整備の前倒し

玉木質問 鳥取工業高校等の実習棟では、冬は凍え夏は熱中症の恐れがある過酷な環境で子どもたちが学んでいます。令和11年度以降とする現在の整備計画を早急に前倒しすべきではないですか。

教育長答弁 国の新構想(N-E.X.T.ハイスクール構想)等を駆使し、これまでの計画を見直し、少しでも前倒しで実施できるよう検討します。整備までは空調服の導入などで子どもたちの学びの環境を守ります。

私立中学校の授業料無償化拡充に対する否定的な付帯意見に反対討論！

鳥取県が長年積み上げてきた誰1人取り残さない多様な学びの選択肢を広げる施策を支持。予算案に賛成しながら付帯意見で制限をかけるのではなく、議場での正々堂々とした議論こそが、民主主義のあるべき姿。すべては子どもたちが自由に学ぶ場所を選択できる社会のため、教育への投資を惜しんではならないと強く訴えました。



活動報告

福祉生活病院常任委員会

県内・県外調査及び出前県議会



十津川村役場前



奈良県庁



奈良県障害者総合支援センター



高森のいえ



大分県庁



太陽の家

高校生議会

主権者教育実施



高校生議会 八頭高校1年生
田中幹宏さんと

議連活動

拉致問題
インド
鳥取港振興



拉致問題早期解決に向けて、イオンモール
鳥取北店にて啓発活動ボランティア



鳥取港振興議連にて 石川県へ



インド大使館にて(インド友好議連)

現地訪問 児童養護施設・児童相談所など



拉致問題早期解決に向けて
議連活動以外にも精力的に活動



園長と現地ヒアリング(喜多原学園)



遠藤理事長と
現場ヒアリング(光徳子供学園)



児童養護施設 鳥取子ども学園
訪問 藤野謙一理事長と

県政報告会



参議院議員 石井めぐみ氏と



深澤市長との未来を語る会



各種イベント参加

県主催後援イベント
地域イベント
学校関係 入学・卒業・同窓会など
山陰飲食の会総会など
砂丘仮装パレード



各学校入学式・卒業式



倉吉市で撮影された映画
「選かな町へ」の撮影に
エキストラとして参加



出会い・婚活支援
えんトリー促進に向けて



山陰三ツ星マーケット
(鳥取港福フェス)



様々な部署の職員さんから
事務事業の聞き取り



総会などに出席(山陰飲食の会)



しゃんしゃん傘踊り
(鳥取北ロータリークラブ所属)



地元小学校校長PTAなどのOB会 次期会長を拝命「しろきた会」



砂丘にて仮装パレード 副知事とラクダにまたがる玉ちゃん

玉ちゃんCUP開催

たくさんのご参加ありがとうございました。



玉ちゃんCUP(鳥取カントリー倶楽部)

もしもの時のために!

**防災士免許
取得**



玉木の信念である!
「皆様が安心して
暮らせる町」





**玉木ゆういちチャンネル
登録お願いします!**



議会録画放送の
リンクです。
令和7年6月～令和8年2月



計4回分の
議会記録です。



公式 HP



維新政治塾開催

大阪府柏原市 富宅正浩市長と前参議院議員・音喜多駿氏をゲストに迎え、政治塾を2回開催。維新の理念や、政治について分かりやすく解説。次回も開催しますので皆さまお気軽にご参加ください。



大阪党本部訪問



藤田文武共同代表とハート写真



維新の吉村洋文代表と



大阪党本部にてSNS発信で特別賞受賞

身を切る改革



児童養護施設に100万円寄付しました

維新のサポーター大募集!!

日本維新の会は党の綱領にご賛同いただき、入党して
くださる個人の方の募集をします。

募集要項

- (1) 我が党の綱領、主義、政策に賛同される方。
- (2) 満18歳以上で、日本国籍を有する方。
- (3) 他の政党の党籍を持たない方。



後援会入会は
こちらから



日本維新の会

鳥取県総支部

党費: 年額2,000円